

こんにちは、日本臨床漢方医会です。  
各地で桜の開花が楽しめる時期となりました。

いかがお過ごしでしょうか？

日頃からの養生と心身を整えられる  
「漢方薬」の活用は、  
春も元気に過ごす一手になります♪

多くの方に「漢方」を知って頂きたく、  
皆さんに役立つ漢方情報をお届けします。

++ ····· INDEX ····· ++

**【1】OTC類似薬の保険適用除外問題について**

**【2】なるほど漢方講座**

～春こそ漢方

**【3】春の生薬：辛夷（しんい）**

**【4】講演会～主に医療関係者向け**

**【5】漢方家庭医講習会～主に医師・歯科医師向け**

■ 編集後記

---

**【1】OTC類似薬の保険適用除外問題について**

---

先月の号外で配信しました通り、

今年1月に  
「OTC類似薬は保険適用から除外すべき」  
とする提案が衆議院でなされました。

当会は断固反対で  
<https://kampo-ikai.jp/news/20250219/>  
にも、詳細に表明して強く警戒しています。

上記を掲載したことで、  
漢方薬を服用または処方されている  
方から、多くのご意見をいただきました。

ほとんどの方が当会と同様に、  
保険適用除外は反対！とのご意見でした。

今後も、除外に向けた動きが  
進んでしまう可能性が有ります。

まだ署名活動まではいたっておりませんが、  
今後も日本東洋医学会と協力して、  
これらの問題に取り組んでいく所存です。

---

## 【2】なるほど漢方講座～春こそ漢方

---

ようやく暖かな気候になってきたか…  
と思えば、その翌日には雪が積もり、

翌日には5月並みの暑さとなるなど、  
極端な三寒四温の春で、  
体調を崩す方が多くなってきています。

インフルエンザ・新型コロナ感染症が  
落ち着いたかと思えば、  
体調悪化に伴うのか、外来では  
感染性胃腸炎が増えて来ております。

胃腸炎といえば、この時期に  
杉などの針葉樹林の下で  
直径1cm程の雪の結晶のような  
白い小さな花が咲いているのが見られます。

古くは、カクマクサや  
ヤマクサと呼ばれていた植物です。

根茎を乾燥させて、  
生薬にするのですが

"黄"色の根茎が"連"なる形であるため  
中国から漢方が導入されたときに  
"黄連(オウレン)"と名がついたようです。

日本産の"黄連"は品質的に  
中国産より優れ、かつては中国にも  
輸出されていたそうです。

ですが、種をまいて収穫するまで  
5-10年ほどかかり、さらに  
販売価格低下に伴い  
生産農家が減少を続けています。

健胃消化、止瀉整腸作用など  
胃腸炎に効果がある以外に、  
血圧降下や止血、精神神経作用があり、  
黄連解毒湯(オウレンゲドクトウ)、  
温清飲(ウンセイイン)、  
半夏瀉心湯(ハンゲシャシントウ)など、  
多くの処方に配合されています。

嘔吐や下痢、胃炎などの諸症状に  
"黄連"を含む漢方薬はいかがでしょうか？

---

### 【3】春の生薬:辛夷(しんい)

---

春先になると、ふわふわした毛に  
覆われたつぼみをつける植物に、

ネコヤナギやハクモクレン、  
コブシなどがあります。

どれも薬用として用いられますが、  
可愛いつぼみをそのまま  
生薬として用いるのは、  
ハクモクレンやコブシの方です。

このハクモクレンやコブシのつぼみ、  
漢方では「辛夷(シンイ)」として、  
有名です。

辛夷には、シネオールという  
芳香成分が含まれ、

鼻の通りを良くしたり、  
鼻の炎症を抑えたりする効能があります。

花粉症だけでなく、  
蓄膿症や慢性鼻炎にも有効です。

また発汗作用とともに、コクラウリン  
というアルカロイドを含むため、

鎮静、鎮痛、抗炎症作用を有し、  
風邪による頭痛なども解消してくれます。

春は花冷えと言って、  
まだまだ寒い日が続きますので、  
十分な養生と共に

辛夷の配合されている漢方薬、  
辛夷清肺湯(シンイセイハイトウ)や  
葛根湯加川キュウ辛夷  
(カッコントウカセンキュウシンイ)  
なども、是非試して頂ければと思います。

漢方薬は草根木皮、自然由来の生薬で、  
生命力に溢れた活力を持った方剤です。

私たちは、有難くもこの漢方の力、  
恩恵を、現在いつでも保険診療のおかげで、  
享受できるわけですが、

しかし、一方で、資源でもあるこの漢方、  
私たち自身が守っていかねばならないのも事実です。

どうぞ漢方ライフを楽しんで頂くと共に、  
これからも保険漢方を宜しくお願い申し上げます。

京メディカルクリニック 岸本京子

※「葛根湯加川キュウ辛夷」の  
キュウは、くさかんむりに弓という字です。

---

#### 【4】講演会～主に医療関係者向け

---

第75回日本東洋医学会学術総会内で、  
医会講演会を以下の通り開催予定です。

●日程:2025年6月7日(土)17:15～18:15 予定

●会場:京王プラザホテル  
第11会場(43階部屋名:スターイト)

●参加方法:日本東洋医学会総会ページにてオンライン登録が必要です。

●演題:「私が見たくない未来」  
202X年 医療用漢方 保険薬価削除

※講演とパネルディスカッションの2部構成です。

●講演座長 兼 パネルディスカッション司会:  
並木 隆雄先生  
(国際医療福祉大学成田病院 予防医学センター・病院教授)

●講演 演題:  
「国保審査委員が知って欲しい  
セルフメディケーション推進下での持続可能な漢方外来・クリニックとは?  
医療用漢方エキス製剤処方医の過去・現在・未来」

【話題提供者】川越宏文先生(ちぐさ東洋クリニック 院長)

●パネルディスカッション:  
渡辺賢治先生(修琴堂大塚医院 院長・横浜薬科大学 学長補佐)  
川越宏文先生(ちぐさ東洋クリニック 院長)  
玉嶋貞宏先生(玉嶋血液内科・漢方診療所 院長)

▼詳しくは

[https://kampo-ikai.jp/contents/ct\\_lecture2025/](https://kampo-ikai.jp/contents/ct_lecture2025/)

⇒ 詳細情報が追加され次第、上記サイトは更新いたします。

※日本東洋医学会学術総会にお越しになる方は、  
ぜひ、6月7日(土)17:15~第11会場にお越しください♪

---

## 【5】漢方家庭医講習会～主に医師・歯科医師向け

---

次回の漢方家庭医講習会は、  
7/19(土)夜に開催予定です。

詳細が決定次第、  
ホームページでお知らせいたします。

なお、医会会員であれば、  
見逃しても【会員特典】として、  
他の過去の講演会や講習会も含めて、  
ホームページから、いつでもご覧いただけます♪

＜一例＞

▼漢方家庭医会 動画(第74回まで掲載中)  
<https://kampo-ikai.jp/category/movie/training/>

当会に入会し、講演動画で  
漢方への学びをより深めてみませんか？

当会では、ショートレクチャーを除く  
講演会・講習会などの参加や動画視聴で、  
規定の研鑽に努め、認証を得た会員を  
「漢方家庭医」として認証しています！

漢方を深く学びたい医師・歯科医師で  
「漢方家庭医」の認証を取得したい方は、

<http://kampo-ikai.jp/profile/profile4/>  
より、案内をぜひご覧ください<m(\_\_)m>

---

## ◆編集後記

「漢方医」の診療を受けたい方は、

ホームページから

「漢方医」検索ができますよ!(^^)!

↓ ↓ ↓

<https://kampo-ikai.jp/doctor/>

通える所を探したいという方は、

ぜひ、上記サイトをご参考に♪

本メールが健康を保つ  
一助になれば、嬉しいかぎりです。

漢方を活用して、  
この春も元気に乗り切りましょう！！

では、次号もどうぞお楽しみに(\*^\_^\*)b

◆ ♦ \* · · ·

お問い合わせ: [jim@kampe.ikai.jp](mailto:jim@kampe.ikai.jp)

2009年の保険除外の反対署名された方や  
医会からのお知らせをご希望された方に  
メール配信しています。

— • • • \* ♦ ♦